

教育研究者総覧

氏 名	桑田 茂樹(KUWATA Shigeki)
所 属	生物応用化学科
職 名	特任教授
学 位	博士(工学)
専門分野	電気化学
クラブ顧問	科学研究会
E-mail	kuwata@chem.niihama-nct.ac.jp

学 歴	1976.3 愛媛大学工学部工業化学科卒業
職 歴	1976.4 新居浜高専工業化学科(助手) 1985.4 新居浜高専工業化学科(講師) 1992.4 新居浜高専工業化学科(助教授) 1997.4 新居浜高専工業化学科(教授) 2001.4 新居浜高専生物応用化学科(教授) 2017.4 新居浜高専生物応用化学科(特任教授)

校務分掌・担任歴	2003.4 ～2008.3 教務主事、副校長 2008.4 ～2009.3 生物応用化学科 3年, 学校改革推進室 2009.4 ～2011.3 生物応用化学科 5年, 学校改革推進室 2011.4 ～2013.3 生物応用化学科 2年学科担当, 学校改革推進室 2013.4 ～2014.3 生物応用化学科 3年, 学校改革推進室 2014.4 ～2015.3 生物応用化学科 4年, 学校改革推進室 2015.4 ～2016.3 生物応用化学科 主任, 学校改革推進室 2016.4 ～2019.3 生物応用化学科 2年学科担当
講義科目	本科:生物応用化学演習2B, 分析化学実験, 分析化学, 機器分析, 生物応用化学実験3 専攻科:電気化学, センサー工学

所属学会	日本化学会, 電気化学会, 化学センサ研究会(すべて2018.3に退会した。)
現在の研究テーマ	1) 固体電解質型ガスセンサに関する研究 2) 全固体型イオン電極に関する研究
相談可能なテーマ	ガスセンサに関すること
研究業績	1) プロトン導電体を用いた滅菌器用過酸化水素ガスセンサの開発, 第21回高専シンポジウム、2016. 2) 酸化還元電位測定用全固体型センサ, 日本材料科学会誌、Vol. 48(No. 4)、p.42-47、2011. 3) 体験型エネルギー環境教育の試行 ―小中学校への出前授業を通じて―, エネルギー環境教育研究、Vol. 6(No. 1)、p.13-16、2011. 4) LaF ₃ 単結晶を用いた全固体型pHセンサの特性, 日本イオン交換学会誌, 19, 174 (2008).

研究プロジェクト,
外部資金等

社会貢献, 地域貢献

エネルギー・環境教育セミナー in 新居浜(四国電力株主催)、「地域連携による新たな共同教育の試み ―準学士力の向上を目指して―」2010.7.29(講演)
新居浜高専教育フォーラム2010「新居浜高専教育フォーラムのこれまでと今後」(講演)
生涯学習大学・新居浜高専おもしろ実験・ものづくり講座「地球温暖化実験」2011.9.24
ジュニアえひめ新聞「木炭電池」2013.7.14
第5回夏休み親子環境教室(愛媛トヨペット空港通本店)2013.7.21(愛媛新聞2013.8.24)
新居浜市 親子科学実験教室 2014.9.7
宇和島自然科学教室 2015.1.24
第9回夏休み・子どもチャレンジフェスティバル(西条市中央公民館)2016.7.31
めぐみ保育園(こどもまつり)2017.6.3
口屋跡記念公民館(身近な電池)2018.8.9

学外審議会, 委員等

高専シンポジウム協議会理事(2002.1～2017.1)現在は名誉会員である。
新居浜市中小企業振興審査会委員(2009.7～2017.6)

国際交流